

LEON- TODD

N-ro. 17



1956

NOV.

N-ro 17.

E N H A V O

1. Flugvniaj Semoj	I. U.	22
2. スコルニツク姉弟両博士を迎えて	{アリマヨシハル	1
	坂下清一	6
3. “話しまししょう”	高橋愛一	7
4. 煙 火 (5)	相沢治雄	9
5. ぼくの海、わたしの海	早川 昇	13
6. R.O. による北海道エス界(Ⅳ)	坂下清一	16
7. HEL 感書目録(Ⅳ)		18
8. 会 員 名 簿		23
9. 会 計 報 告		25
10. オ20回北海道エスペラント大会報告書		26
11. あとがき		35
12. 表紙についてお願い		35

全エスペランティストの必携書

日本エスペラント運動50周年記念出版

エスペラント運動便覧

— 朝比賀昇編 —

100部限定 B5判 111P 170エン

売 売 所

日本エスペラント学会

スコルニック姉弟両博士を迎えて

アリマ・ヨシハル

1956年9月6日は、朝からグランドホテル、山形屋旅館、丸屋旅館など外人の泊りそうな旅館にかたっぱしから電話をかけて「アルゼンチンからのお客をスコルニックという人は泊っていないだろうか」と問合せることまでがしかつた。

東京のエス学会の三宅さんから8月31日村邊速成で「五日中にアルゼンチンのエスペランチスト Dr. Scolnik 夫妻 (ゴールドバの UEA の del.) が北海道へ行きます。あなたのご住所を知らせておきましたから、どうかよろしくおねがいたします。正確な日どりについては仙台へ連絡を依頼しておきます」というハガキが9月1日に届いていたし、9月4日には「スコルニックゴヒツクイサイフミ、センダイシブ」という電報も入っていたので、ゴヒは5日に5日に到着されるものとサツボロの Samideanoj 時に S-roj 相沢、坂下、近里、木村と共にわたしは Scolnik 博士の乗車を、仙台からのフミとともに持っていた。ところがかんじんのフミが5日になつても届かないので Gedoktoroj の到着時間がわからない。その乗車台からのフミは乗違ハガキだったが9日朝に届けられ、それによつてすでに前日5日の昼「大着」で到着しておられることがわかつた。5日の夜の「マリモ」に S-roj 相沢と木村の2人が迎えに出て、会えなかつたのもムリないわけだ。

旅館をしらべてわからず、交通公社にそれらしい男女の外人の乗車ことは判つたが名前がわからないという。また北大内の道路を外人男女が歩いてのぞくとおしえてくれた人もあつたが、乗車はたしかめようがない。しかたなくわたしを前へて乗られるのを待つより方法がなく、今は Samideanoj に連絡するイトマもない。

6日の8時すぎ、夕食をはじめようとしているとき、ちょうど外を覗いたコドモが「アツ! スコルニックさんがいらしたヨ、だげどニツボンのおじさんとヨ人だ」という。なるほどヨ人だ。日本人の案内者がついているとの通知はなかつたが、フシギに遡つて玄関に出てみると、「この外国人がアリマさんを尋ねてさまよつていたのでお連れしました」とニツボンの外人はわたしに説明してくれた。日本人でさえ、見付けにくい私の家を外人でよく近くまでたづねて来たものだ。2人の外人をながめると、S-ro の方が Cu vi estas Arima? と問いかけて来た。Jes. Cu vi Scolnik? と

答えて、あとは *Bonvenon. Eniru! Eniru!* とあわてて入室さうながした。

二人が玄関でクツをぬいでいる間に、家族の着が揃って大急ぎにヘマをかたづけ、ザブトンと並べたのえ *Sidigu! Bonvole sidigu!* と尋いた。同じく自宅へ外人を迎えるのは初めてのことであり、その上、もしかするとアルゼンチンの博士が二人も来られるかも知れないと聞かせてあったので、家族皆があわてている。ザブトンの上に足を横に投出して履きりにしている二人を見たわたしの家内が、ちようどヘマの隅に敷いてあったワラブトンと折畳んで低いソファ-型に作り、そこへ坐るようすすめると壁の上が良いとのことだった。

ちうべはドコに泊ったのだろうかと思つて、*Kie vi tranoktis hieraŭ vespere?* とたずねてみた。すると「札幌市北二条東ノ丁目新旅館」と書いた *papereto* を見せてくれた。まさか皆裏のヨ流旅館に居るとつていたと思わなかつた。これじやさかし当てないのもムリはない。わたしが「新旅館」という漢字をゆびさして「ミヤゴリヨカン」と読んで聞かせてから、*Mijako estas Urbo kaj Rjokan estas Hotelo.* と説明すると、それを聞いて *Doktorino Scolnik* が *Rjokan* *Mijako* と発音した。Ne, me estas Rjokan *Mijako*, Sed *Mijako-Rjokan* といふとケゲンな顔をしている。そして *Rjokan* は *Jadoja* ではないかと質問する。そこで *Jadoja* はニッポン古来のコトバで、*Rjokan* はシナ伝来のコトバ、*Hoteru* は英語から来たコトバで日本人はヤドマよりはこのシナ語と英語の方を使うと説明すると、HO! と目を丸くした。

Gedoktoroj Scolnik を三宅さんからのハガキには夫妻と書いてあつたが、仙台支那からの連絡には「*gedoktoroj Scolnik estas gefratoj, S-ro Mijake erare Sciigis al mi, ke ili estas geedzoj.*」となつていたので、*D-ro Scolnik* にたしかめてみると、*D-ro* は *D-ino* を指さして「アネ」姉という。わたしが *Mi pensis, ĉu ŝi estas pli juna fratino?* といふと *D-ino* が「そんなに若く見えるか」と喜んでた。

坂井にわたしの家族を *edzino, filino, unua filo, dua filo* の順に紹介すると、長男に向つて高等何年かと問うので、「*em unua grado*」と答えると、*Esperanto* は出来るか? と再び問ひかけて来る。Ankorau ne とわたしが答えると、せし学ばなければいけないと長男にすすめる。*Mia edzino* の名は *Ĉieko* で、*filino* の名は *Taeko* だと説明すると、*Ĉu Ĉieko kaj Taeko estas floro?* と *D-ino* の方がたずねる。しかしわたしは、はじめその意味がのちこめなかつた。おじが2~3度 *floro?* と

繰返したときにやつと意味がわかった。チエゴ、タエゴというのは死の名なのか? ということを知っているのだった。Ne, me! me estas floro, と答えると、Si, ĉi estas Mia nomo estas "Rosa", Rosa estas rozo, floro nomo, mi estas Ros Scolnik という。そして弟の名は Jaime (ハイメ) Scolnik というのだと説明してくれた。

アルゼンチンでは何語を使っているのかとたずねると Hispana lingvo と D-ro が答えた。そこで、3ヶ月ほど前にNHKのラジオ放送の土曜、日曜の朝の時から30分間ラヂオ講座でスペイン語を勉強したことがあるので、そのテキストを持って来て見せる、Ĉu vi lernas hispanan lingvon? と聞くので、jes, en radio と答えると Legu といつて会話体の部分だけを10行ほど読まされた。ひつかりながら読みおわると、Bone! とほめてくれた。

Hispana lingvo estas same al Esperanto. Ĉu ne? という。D-ino が Jes, ĝi estas simila al Esperanto と答えた。スペイン語を勉強して見ると発音が Esperanto によく似ているものが多いし、日本人にしにくい発音はあまりないことがわかる。このためか Gedoktoroj Scolnik の Esperanto はよくわかり、またわたしのおぼつかない Esperanto もわかるようだった。

ちやうど、その日 aĉeti してあつたスイカを差上げると bongusta, tre bongusta と云つてたべておられるので、Ĉu vi ŝafas? と聞く。Jes, mi tre amas akvomelonon, という。そしてスペイン語では「サンヂヤ」というのだと教えてくれた。これをヤツカケに語はユトバのことに移つた。Bela, Bona はニツボン語を何というのかと Doktorino がたずねた。Bela は ucukuŝii aŭ kivei, kiveina で Bona は joi aŭ ĵii だと説明すると、わかつたような判らないような顔そうなづいてた。

Ĉu en viaj vojaĝoj vi uzas nur Esperanton? とたずねてみると、まだ Esperanto が世界に広く普及していないから Esperanto だけではだめで、自分たちは英語とスペイン語も同時に使つているのだと返事だつた。D-ro Scolnik は非常に遠慮がけいらしいので世界の Esperantistoj を利用することをせざるを得ず結局 Esperanto は普及していないと感じられるのかも知れないとも考えてみた。

明7日は朝7時発の急行で Siraoi のアイヌ部落を訪ねてその夜は Toja 温泉で泊り、Hakodate にも一泊して、Aomori を経て12日に Tokio に行き、明船に乗り、再び日本に戻つて来たら Kioto, Hiroŝima, Nagasaki を見物してから11月に日本を去る予定だと話しておられた。そこで私は、4年

前買つて世界の Samideano; に送った原稿被害を初公開したアサヒグラフ
1952年版の残りのノ部を D-ro Scolnik に差上げた。Liはあつく感謝して受
取つて下さった。アルゼンチンをいつ出発されたのかとたずねると、去年の
5月で、もう1年以上になるとのこと。日本をあとにしたら次は Amerikoに
遊び、Kamado をまわつてから Argentino に帰るとのことに、姉弟でこん
なにのききな世界旅行をされていて妻子はないのだろうかと思う。Doktoro!
Ĉu vi havas infanojn? と聞いてみると、Jes, ĉi tiom nur unu. と答え
て、すぐ Si estas 18 jara kuracistino. とコトバを続けた。すると D-ino
が Lia edzino estas en Argentino とつけたした。2年近くも妻を放つ
ておいて姉弟で旅してあるくとは何とうらやましきことよだ。

わたしが満洲に28年余り住んでいて8年前に日本に帰国したという、今
あそこは共産国になつていますねというので、Jes, Sed mi me amas Kom
muniston kaj Komunistojn. と返答すると、D-ino は顔色しめ、舌
打ちして首を左右にかり、Ankaŭ mi me multe amas Komunistojn. と
吐き出すように言つた。

Scolnik 姉弟と話してて感じたことは発音が美しくよくわかることだつ
た。こちらの云うこともわかるらしいので会話にだんだん自信が出て来て、
よしこれを機会に Esperanto の会話をうんと練習しようと思つた。それが
らもう一つ気付いたことは、わたしの言うことがわからなかつたり、発音が
はつきりしないときは自分がなつとく行くまで何べんでも聞き返し、念を押
すことだつた。遠慮がたいニツポン人特にわたしなどは何べんでも聞きかえ
すのは相手に失礼なようで、とかくいいかげんに聞いてやめてしまひ勝だが、
それではかえつて失礼になることがあるかも知れないので、D-ro Scolnik の
ようにはつきりした方がいいのだと感じた。

Gedoktoroj の服は非常にかんたんて職業なものだつた。約1時間ほど
して foriri されるといふので玄関を D-ro にクツペラを差出すと、いらな
いとのこと。足もとを見ると D-ro はクツシタをはいておられない。D-ino
の方はさすがにクツシタをはいておられたが、服はワンピースのかんたんな
ものだつた。新旅館のおかみの語ではフロは旅館のに入り、もちろん寝具も
日本人のものを使われたが、食事は全部自分で買つて来たパンとリンゴです
ましておられました。お2人ともトモ良い方でした。お手紙でも出される
ときにはヨロシクお伝え下さいと云つていた。Gedoktoroj はドコに行くに
も歩くか電車で、ハイマーなどは使われないようだつた。

帰る2人を道端まで見送つたが、家族がサヨナラと大声で別れのコト

バを送ると、D-ino が *Kio estas "Sajna"?* と聞くので、おや ji はまだ *Sajomara* をごぞんじなかつたのかと、みしぞにおもいながら、*Ne estas Sajna. Sed Sajoomara.* "Sajoomara" estas adiaŭ. という。D-ino は *Sajoomara* を何回もくりかえしていた、あなたは入クツかと D-ro がわたくしにたずねたので、*Mi estas kvardek naŭ-jara.* と答えると、*Oh. Same al mi, mi estas kvardek naŭ-jara kaj kvin monatoj.* と笑いながら言つて、鍵は50ヤドと付けたした。2人は何處も礼をのべながら手をふつて、5丁ごとの電車降所へ向つて歩いていった。

S-ro 相沢、木村、西里などに連絡とれて、どこか感じの良い Teejo でも *KumVena Kunsido* が開けたら、もつと素しく感懐深い会合になつただろうと非常に幾念だつた。坂下さんが新旅館に近いならお知らせしたらとの案内のコトバにさつそく S-ro 坂下 だけには電話で連絡とつた。

翌朝ク時に、*Gedoktoroj* を見送るためにプラットホームで待つたがついに見出せなかつた。念のため3并持合所をながめ回すと D-ino が見つかつた。改札口の旁から D-ro がやつて来るので声をかけると「どこかに行くのか?」という。Ne, me と打辨して見送りに来たのだというコトバを思ひ出している。「見送りに来てくれたのか?」と向うでかわつて言つてくれた。わたしら3人並んで話しているとドコカの女学生3人が何語だろうといつた顔でながめている。そこで、わたしは彼女等に「わたしたちが今はなししているコトバは 에스ベラントです。この人たちはアルセンチンから来た博士で、エスベラントだけでよくわかるんですよ、世界を回するには 에스ベラントに限るしとても便利なコトバです」と宣伝してやつたが、感じたのが判らないのか、無表情な顔で聞いていた。

そのうちに普通列車の発車時間が来たので列にならんで話合つた。Cu S-ro Sakasita vizitis vin hieraŭ vespere? とたずねてみると、Ne. li me vizitis min, と言つて、ケゲンな顔をするので、わたしはおかしいと思つたのを再びたずねて見たが、やはり Ne との答に、変におもつている。D-ro がわたしに向つて *Cu vi estas s-ro Sakasita?* というので、Ne me. me. mi estas Arima. と答えると *Se estas tiel, s-ro Sakasita certe vizitis min.* と、やつとなつとくいつたようだつた。はじめは S-ro sakasita と mi とを取りちがえていたらしかつた。時間が来て、改札がはじまると *Adiaŭ, multe dankas vin. mi tro dankas vin por via bonkoreco. Adiaŭ!* と2人は代るがわる礼をのべてプラットホームへ出ていった。

スコルニック姉弟両博士を迎えて

坂下 清一

S^{ro} アリマの記事の通り、駅へ出迎へたり、ホテルへ電話したり大騒ぎをした結果どこにも見当たらないスコルニック姉弟が、なんと、二丁程離れた旅館に居るとのアリマ氏の電話で御存知のように会話の不得手な私は、元小將エスベラント会話会の斗将高橋要一君をさぞつて訪問しようと思近くのS^{ro} 高橋に電話したところ折返し所需を出掛けて不在、寛を決して独りで訪問することにした。20時過ぎアリマ氏の処から構っているかどうか旅館に電話したがまだ帰って来ていないが、向いの果物屋で買物をしているのがどうもぞうらしいというので、早速出掛ける。

小將で Zimmerman, Major, Fedozak 等と話したのは多数の同志と相手は一人だったが、今度は相手が二人で当方一人、覚悟して和エスを持参する。J.E.Iから書いてきた名簿に、札幌はアリマと坂下が載っている。然し此ノ9となつて来り面もかいてない。これなら近くの私のところより、近いアリマ氏の正確な住所を教えるのが当りまえだ。

新しいがあまり立派といえない多量の和室に二人の床が敷かれている。純日本風に和さんは今風呂へ入つているという。しばらくD^oと話す。正確な発音でわかりやすい。その内容がきた和さんがくる、はつきりした発音だが二人でペラペラやられると返答に困る。私は下手なのだからゆつくり話して呉れとたのも、いや正確な発音だなどおだてられる。行程などを聞く。全然金銭をかけない方法だ、タクシー等は一切つかわず、市電、バスを利用する。宿も食率別の首肉の安い処をさがす、食率は近所からパンと果物を買つて食べる。これなら安くあがるわけだ。札幌駅で駅員に紹介して貰つた由。

英和辞典を持っていて、今も Kudamono を買つてきたと話す。日本は英語を知つていれば、ある程度不自由がない、とエスベラントテストには一寸窮いことをいう。尤も駅でも、バスでもエスベラントは通用しなくとも英語なら方言でも一寸通じるだろう。Where station だけで中学生でも駅を教えてくれる筈だ。實際問題としてのエスベラント宣伝と実用に就いて考えさせられる。何を話したのか一人で1時間半も話し込んで、22時近くに辞去した。旅館のぬるいお茶を一杯のみただけで、Gis Revidoとはいえないから Bon vojagon と言つてきた。



話しましょう。

高橋 要一

Esp 活動の面に於いていつも問題になることが幾つかある。その一つは切角企画された講習会が一応集会に了つてもその後には熟る S-amoj が全く少いこと、いつの間にもあまり活気がなく自然に出席者、それも初歩者の出席者が少なくなっていくことである。

これには色々原因があることで、古い S-amoj の熱の入れ方にもよるし、Esp 学習の目的がはつきりしていないこともその一つである。全く現在の我々の周囲の状況では Esp が日常生活の中で必要に迫られることかないのだからやむをえないことでもある。然し我が国の中学就課程にさえ採用されている英語教育の現状も必要性から覆れば似たりよつたりではないだろうか。我々の生活の中に採入れられている外国語の単語の数は多かか知れたものであるし、それによつて特に我々の生活が影響されることがあるとも思われぬ。

Esp 学習の動機は人によつて異なるのは勿論であるが、素朴な興味から始める人が多いのではないだろうか。そしてこれらの人達は Esp の基礎文法が容易なものであることを認識するにつれて、語いを覚えることと、これを自由に駆使する為には他の自然語と同様に一方ならぬ努力の必要なことを知つて、更に深い研究に没頭する勇氣を失うのではないだろうか。これは私自身についても云えることであるが、それにしても今に Esp から全く縁の切れないのはどうしたものだろうか。今は勉強する時間がないとか何とか云つてはいるが、学習を始めに当時の覚悟は大変なものであつた。余暇とゆう余暇は全部 Esp に投入し、まるで Esp にとりつかれた様な時代があつたのに。

さて、始めの問題に熟るが Esp 活動の今後の課題の一つとして、新しい S-amoj を確實に Esp-istoj として育ててゆくにはどうしたらよいかということである。

まずテキストに依つて一通り初歩の課程を終る。次に辿る途はやさしい教材によつて輪読形式を探りながら単語を覚え、文法の細部に入るのが今までの多くの方法であつた。このやり方は確かに必要であり、又より高度の研究の基礎を固める為には確かに有効な方法である。然し考えてみなければなら

ないのは、果してこれが最良の方法であるかどうかである。言葉は生きている。そして我々がEspを学び初めた動機は、主にこの言葉を母国語と同じに自由に駆使したいという期待から生じたからだ。よしんば各自の目的が種々雑多であるにしてもである。

英語はむづかしい、仏語は性別がどうだ、独語の文法がどうした、我々が日本語と全く系統の異なる外国語を学ぶには、特別に語学の才能のある少数の人達を除いては、全くこれらの障害に直面してトタンの苦しみを味わはなければならず、遂には折角の努力も途中で空しく挫折してしまうのである。

Espの学習にも同様なことが云える。なる程、文法は簡単であり、初歩課程は容易に通過できる。がこれからが問題だ。輪読形式もよいだろう、ある指導者によつて一途の学習を進めることもよいだろう。だが果して、これで永く我々の学習に興味をつないでゆけるだろうか。それだけでEspを自由に駆使していける様になれるだろうか。

読めるだけではだめだ。作文ができるだけでは言語として充分に役立たせたと云えない。話せなければならぬのだ。話すことになれることによつて興味も生れれば、語学かも一層増進しその速度も早めることができる。

例会における学習には文法講義に併行して会話の習得にもつと力を入れなければならぬ。これによつて我々の会話はもつと活気あるものとなり、より一層Esp語のもつ特性に気付き、Espの学習とEsp運動への勇気をかきたてられるであろう。

ここで会話練習について意見を述べてみよう。何の学習でも同じだと思うが、語学などは殊にそうである。初歩のうちは何れも、少し進めば尚更自分の学力に自信がもてず、自分の表現が間違つてはいはないか、笑われはないかと気になつて兎角おく病になりがちである。会話の練習についてはこの様な考えを捨てなければならぬ。

オ一に話すことにもつと勇敢でなければならぬ。

オ二に話す者もその対象も相互に程度を合わせる様に努めなければならぬ。初歩者は自分の程度を高める為、に努力し、程度の高い者はこれを理解してやらなければならぬ。

まだ必要な条件はたくさんあるかもしれないが具体的にはその徹底取上げていけばよい。言葉は必要に迫られれば必然的に覚えられるものであり、又覚えなければならなくなる。まだ運らない気の毒なソ連抑留者達はどうかであろう、文法的には正確でないかもしれないが日常生活には事欠かない程度にソ語を解し、話すことができる様になっているであろう。私の確が2年間の

マヤ生活に於いてさえもうこの事実を経験したものである。

細見は文字を識り、文法に習熟してから自分の意志の発表を言葉に託すであろうか。

「初めに言葉ありき」とか、まづ語彙ではないか。

Espはやさしく学べる。そしてEspは生きている。逝きましょう。Espを。

ザメンホフはその途にその新しい一生を捧げたのだ。この言語によつて人類に平和をもたらそうと!! (OCT. 27. 1956)



埋 火 (五)

相 沢 治 雄

全道エス大会のうつり変り

今秋9月23日札幌で第20回目の全道エスペラント大会が開催された。会場は町対会館である。大会のプログラマーは別に記事が出ているから詳細はそれを御参照したいが今年度の大会の特徴としては参加者の数が非常に多かった事と婦人の参加者が多かった事をあげねばならない。それから少々スラレオコーパではあつたが言合がよかつた事も何年ぶりである。私はエス運動に足を踏み入れてから25年位になる。これは何も自費して云う訳ではない。むしろエスペラント運動に加わつていながら何もなす処なく荏苒と日を送つて来たかと思つと情愴に耐えない。ただ毎年の大会には必ず出席していたので今迄の20回の大会には1回もかゝしていない。そして又全道大会にかゝらず出席して居たのは私ノ人だけである。第ノ回の全道大会の事は前に書いた。その後の大会の事も記録をしらべて書く事にする。今回は従前の大会と、戦後の大会のあり方と云つた様な抽象的な問題を述べるに止める。

1. 大会と連盟の關係

戦後も度々問題になり、場合によつたら今後も問題になるであろう事の1つに大会と連盟の問題がある。全道エス大会は北海道エス連盟の大会と考えたいし、ある人はどう考へている。又第ノ回大会は明らかに北海道エス連盟の結成のために大会が開催されたはずである。しかし何時の間に大会と連盟に分りして存任するのだという考へ方が起り、大会開催の機会に連盟の領

合を開催するという形式を取る様になつた。こうせざるを得ないのは、大会は全道エスペランティストの大会であつて全道のエスペランティストは即ち連盟の会員ではない。尤もこう大会を連盟の大会と考える事が出来ないという論理的な理由がある。理由はこういう事だが、無理矢理に大会はエス連盟と何れも関係がないんだぞとどならなくてもよかつたのではないかと思う。誤解されると困るがどなる人がいたのは戦前の事である。戦後はアリマさん并北海道エス大会は連盟の大会であるべきだと主張した。しかし私は前に述べた論理的な理由でやはり別のもつと見え全道エス大会の機会に連盟総会を開くという趣意を取つてゐる。なぜならばエス運動がとがまんになれば必ずこの問題が起つてくるからである。日本エス大会は学会の大会ではない。日本にあるエス団体及び日本にいるエスペランティストの大会であつて学会は日本大会の機会に総会を開催する。理窟にはあつてゐるのだが私連ならどちらでもかまわぬ気な気がする。たとへば日本エス学会が総会を兼ねて日本のエスペランティストを集めて大会を開催したつて何も悪い事はないぢやないか。どうも内地く私はいつもいわゆる本州の事を内地という。間違つて、あるいは又知らないで内地と書いてゐるのではない。北海道は大八州とかオノゴロ島の中には入つていない。本州のヤマトの国とは別なものだ。)のエスペランティストの中にはずいぶん稀な人が居る。うっかり学会で開催する今年度の日本エス運動五十周年記念大会等と云へば、記念大会は日本エスペラント運動五十周年記念行事委員会が開催するのであつてエス学会とは何等関係がないと云ふ様な言分をする。何とかかんとかきつても中味は同じなのだからどうこだわる事はあるまいと思う。札幌等は(日本で一番エス運動がとがまんではないと思うので方々から忠告されているのだから、エス団体が恒続されていますの運動してゐますのと言へた美理ではないが——然しまるきり短い訳ではないのだから)札幌エス全道連盟日本エス学会支部と必要に応じて適當な看板を使つてゐる。北海道のエス運動も戦後は地に落ちた形だから全道大会とエス連盟の関係もうるさく論議された事は戦後になつてからはない。しかしこの点はつゞりしておかないと必ずあとで問題になる。

2. 世界連邦の問題

今年の大会に世界連邦の問題が出た。連盟として世界連邦の運動に対して協力する用意があるかという様な質問が二三回答を交わしている中に、エスペランティストは恒続を承けて、つまり北海道エス連ならエス連盟そのものが、団体が世界連邦運動に加入すべきであると主張している様な形になつてし

まつた。之には派場ア然呆然とした有様であつた。公式な会議でこんな面連も珍らしい事だが、エスペランチストに限らず広い意味での社会運動をやつてゐる人がよく陥る弊習だから、注意しなければならない。社会党の人があらゆる社会主義者は社会党に入らなければならない。だから労働組合員は社会党に入党しなければならないと云うのを聞いた事があるし、共産党の人が同じ事を言つてゐるのを聞いた事もある。エスペランチストはエスペラントを学びそれを普及しようといふ事だけで結ばれるべきだ。だからエスペランチストの集會に資本家と共産党員、仏教徒とキリスト教徒が同席しても何も不思議もないしケンカもしない。世界連邦主義者がエスペラントの思想と世界連邦主義が合致するものだからエスペランチストは世界連邦主義者であらねばならぬと考えるのもおかしいものだ。私は世界連邦運動をよく知らないから、その様な考え方をするのは連邦主義者の二、三の人だと思つが、もし連邦運動がそれ自体がその様な考え方をする運動ならその故にだけで私は反対したい。なんぼずばらな私でもエス運動の自主独立は守りたい。

3. 分科会を持たなければならない。

大会には分科会を持たなければならないとの提案がなされた。エスペラント大会なるものが開催されるとすれば分科会を持つのは当然の事である。北海道大会で分科会を持つた事がある旅に思つたがよく考えて見ると一度もない。24回日本大会の時婦人、文学、科学、鉄道等の分科会が持たれ北海道大会も分科会の形、(あるいは時間と云つた方が正しいかも知れない。)で開催された。オノ回目的全道大会の事は前に書いたが、講演会とか弁論大会があつたが分科会はなかつた。分科会を持つとすれば現在の処学生婦人等の分科会位であろうと思われる。大会の参加者が毎回30人前後だからその他の分科会が無く、又あつても出席者が少なくなつたり、どの分科会にも出席したくない人が多かつたりするのでプログラム作製が困難になる。時間的な関係も考えなければならない。終戦後の大会は毎回/日ですましてゐるし、それも10時頃から始めて4時頃終らしてゐる。だから全道のエスペランチストが集つて何に/回顧を合せる会に止まつてゐる様な有様だ。とても分科会までは出来なかつたし、今年度の大会に西里君が提案するまで誰/人として分科会が必要だと思つた人はいなくなつたかも知れない。しかし大会には分科会を持ちたい。

4. 大会の議案

今年の大会にはあまり大膽な提案はなかつた。戦前及び4.5年前の大会に

はよくエスペラント会館の設立だとか北海道エスペランティストを法人組織にする話だとか新聞に広告用の記事を寄せるには都合のよい様な提案がなされていた。

それだけ意気込みだけ産んであつたのは結構だが実現する見込みもない様な問題をやたらにふり廻した態度はやはり反省しなければならない事であろう。

やはりエスペラント運動は地味に／＼／＼の同志を見出して行くといった行方方でコツコツとやつて行かなければならぬのだし、北海道では全エスペラントの純力を結集しても何程の力もない。先づ同志をふやす事と自分自身の学力を向上させる事を考えなければならない。大会にも100人位参加する様になつたら分科会等必ず持たなければならない事になるし、読者の決闘も社会からも注目される様になるだろう。少々の集会の決闘でも大きな結果を生む事が無いでもない。例へばネオロギスモ反対決闘(やたらに新語を使用するハンガリーの詩人連中のやり方に対してザメンホフの文体を守れとの警告的宣言)が北海道大会から日本大会に提案され日本から世界大会に提案され決闘された様な事もあつたが、自分自身が強固な地盤に立つているのでなければ大きな決闘をしても、決闘のやりつばなしであつて社未をする事も出来ない。

5. 大会への希望

全道大会の参加者の数は50人位集つてほしいと思う。地方で四人筒に研究をされている人は別としてやはり各地方会の代表は必ず出席してもらいたいと思うのだが機械その地方会がはつきりしなくなつたのは残念である。帯広、旭川、函館など早く会を結成してもらいたいと思う。室蘭からは今年の大大会にカモさん始め婦人の方々が出席され近く室蘭エスペラント会を結成されるとの事であつたが、よろこばしい事である。大会の時間も毎年短かいは残念だ。やはり昔の様に2日間をしたい。大会の商會式がすめば正午で、連盟の純会と大会協賛会を一箇にして2時間立しが読題審評の時間がなく出席者同志のコン談会等わずかの時間しかとる事が出来ない。一つには至貴の蘭風なのだか2日間にする事は不可能であろうか。今年の大大会に何故毎年大大会を9月23日開くのかという眉角が出た。これは以前には2日商大会がつづいたので9月の連休(9月23日順連休になる事が多かった)を利用する事が多いのでその名残である。

今年はお20回の記念大会だというのに、準備委員会では何一つ記念大会らしい事をする事が出来なかつた。委員の一人として断続に耐えない。終戦後もう十年も経つている。今後／＼／＼回大会の内容を充実して行く様に力

をつくりたいと思う。



ぼくの海わたしの海

(早川 昇訳)

La sesa gracla lernanto de Sakai
Elementa Lernejo

S-ro Yosiyasu Nakayama

Mi estas tute kortuŝita de tiel kura-
gaj kaj dankindaj impresoj el la film-
oj de la japana ŝiparo kiu pasas la
balenojn en la glaci monto fluinta An-
tarikta Oceano, kaj ankaŭ de la kon-
dutoj de la Salmo - aŭ trutokaptistoj
en la senlima nordmaro kun ondegoj
furiozantaj kaj nebulo demsa.
Kvankam nia lando, Japanujo, est-
as ĉirkaŭigita de la maro el ĉiuj
direktoj, la eksterlandaj eksperi-
mentoj de la atombombotiel limigis ĝi-
an laborsferon en sudo. Kiel en no-
rdo ankaŭ la limo de fiŝkaptado.
Mi esperas, ke mia lando kaj Sovetio
pli frue interpacigu, kaj ankaŭ
ke miaj ĉiuj marvivantoj deposte
laboru ĝisrate en la maro, por ke
ili faru bonon al la popoloj de la mo-
ndo. Kun la teĝifilego de ŝiri la kvi-
econ de la tagiĝo eklumigas la
lago por la havemo Otaru. Ankaŭ
hodiaŭ por komercaj ŝipoj de ekster-
landoj jen estas enirantaj en la
havemon kun la ĥirigantaj macista-
nindardoj: la etindardoj de leviganta suno
de la Britujo. aŭ de ŝteloj kaj stiloj.

白地にくつきり日の丸をぞめた日幸
旗をマスト高く上げて、米山の流れる
東極洋にクジラを追う船団、氷波と霧
の深い北のはてしない海にサケ、マス
をとる人々のすがたを映画でみて、勇
ましさとありがたさで胸が一ぱいだつ
た。四方海でかこまれた世界三大漁場
の一つに数えられている日本も、南は
外国の原爆実験のために、北は濠かく
制限で作業するくきがせはめられた
。早く平和になつて、海で生きる人が
毎で思うぞんぶんゆき、世界の人々の
ためになつてほしいものです。ボーツ
と明け方の静けさを感つての汽船に、
港小舟のノ日は明けてゆく。きょうも
また貿易の船は日の丸、ユニオン・ジ
ヤック、屋敷旗などなびかせて入つて
くる。あらゆる国の船が、もつともつ
とたくさん入港する日が遠くない気が
する。港内では荷役、あげ荷、通船と
なかなかのにぎやかさである。海に生
れ、港に育つた小舟の子は、ノ日とし
て海を忘れることができない。

La Sesagrade Lernantino de Tenjin
Elementa Lernejo

Fino Taka-ko Sudo

AmKoraŭ nun mi bome memoras, Ke mi estis riproĉita de miaj gepatroj pro tio. Ke mi laŭvoĉe krias al ili en aŭtobuso jene: "Frue, pli frue!" Kioman agon mi tiam havis? Mia menoro pri tio ja estas memu kredinda. Eĉ se jam nun estas la sezono de marmado, estas tiel malvarmeta preskaŭ me-Kompare kun la lasta jaro, ke mi nepovus eliri pormaĝi. mi esperas, ke mi lertigu en magado per mia ekzercado en maro, kiane pli varmoga vetero ebligos al mi eliri tiem. Ja estas al mi la rememoro, ke oni, kiam mi ankoraŭ estis infano, alseve ridante diris al mi jene: "Via eliro me celas maĝi, sed refreŝigajon premi ĉe marbordo, ĉu ne?" Sed tamen, la maro estas cetere al mi gaja. Eĉ kiam mi kunportas memu refreŝigajon, la maro lumigas miajn korojn kum gajeco. (Ĉar mi nepovus ĝui marludon en la lasta jaro, mia ragado eble pli mallertigas ol antaŭe. Ĉu la traakvigajon aŭ hundo manteran maĝon mi povas? Sajnas al mi, ke preskaŭ ĉiuj samklamimoj nepovus maĝi. Ofte kiam mi rimarkas iujn komlute rekte magan Taj fiŝmaniere, mi esperas frue lertigi laŭ ekzercado. Ĝuste tiun ĉi jaron, mi laŭ deziro iru kaj maĝu en la maron.

「早く、早く」私はバスの中で両親に向って大きな声で叫んで、しかられたことをいまでもおぼえている。あれは何オころであつたらうか、たしかな記憶はない。今年もいよいよ海水浴の季節になつたが、昨年とはくらべられないくらい寒くて、とても海水浴には行けそうもない。早く暑くなつて海へゆき、水泳の練習をして上手になりたいと思つている。子供の時に「貴子たちは泳ぎにゆくんじやなくて涙でおやつを食べにゆくんでしょ」と笑われたことがあつた。でも海はやつぱり楽しい。たとえおやつなどもつてゆかなくても海は楽しく私たちの気持ちを明るくしてくれる(去年は海にゆけなかつたので泳ぎも前より下手になつたらう。面ががりや、犬がきかせるだらうか。同級生の女の人たちには余り泳げる人がいないようだ。スイスイと気持ちよく魚のように泳いでいる人を見るたびに、早く練習をして上手になりたい。今年こそ海にいつて思うぞんぶん泳ごう。早く暑くなつて海にゆきたい。2、3日前から夏らしい天気になつてきたので、ちかある全旅海水浴の日がとても特別とおしい。

Ĉar la vetero Sommeremigas de antaŭ
du aŭ tri tagoj, la tago de la fulmerne-
jana nagado estas al mi ŝempacien-
ce en atendo.)

La sesa grada lernanto de Hanazono
Elementa Lernejo

ŝ-ro Tomio Honma

En la nuntempa sezono, t.e. la so-
nnero, mi ĉiuj ĝelernantoj mature sop-
iras al la maron. la maro vasta me-
nur estas al mi la loko por eviti varmeg-
on. Sed ankaŭ por hardi korpon kaj plie
traŭkviligi min mem kiel la ripozejo k-
onsolplena. Mitial, treege ŝatas la ma-
ron. la grandioza kaj blua kontinento
estas tiel superplene akvopleniĝas,
kenni, kviete ĝin rigardante, ekstimus
min esti ensuĉebla. kvankam eĉ juli-
on de nuna jaro nur malmultaj iris
al marbajmojn. mi ŝempacience kur-
aĝis nur unu fojon. En la marbordo
de Asari, kien mi vizitis, la lumo
de tiea marsupraĵo ŝajmas al mi
esperodonema, la ondosoĵojn kiel
"za-b-bu-u-uu, za-zat-t-t"
mi akceptas kiel kuragiĝi la koro-
jojn de la malesperantoj. Certo ja, ce-
rte. Tamen mi miriĝas, kiel forte
elsonoras la ondoj. La maro eble estas
io vivanta. De antaŭ kelkaj cent
milionaj jaroj la maro longdaŭre aga-
das. kaj kiel tiu ĵeu estas historike.
En la nuna Libertempo, mi hardu la
korpon kaj emociion en la maro. Mi

夏になると、皆んな海にあこがれ
る。暑いからばかりでなく泳びろと
した海は、体をきたえるうえ心も休
ませてくれるいい場所である。
僕は海が大好きだ。この広大な青い
大陸は滅々と水をたたえ、水面をじ
つとながめていると、体までもすい
こまれるような感じにおどられる。
今夏は七月に入つても涼しいので海
水浴に行く人は少ないけれど、僕は
がまんしきれなくてノ行つて来た。
朝里の海岸であるが、あの海面の
光りは、なにか希望をあたえる光の
ように思われる。「ザブーン、ザザ
ーン」この波のひびきも、力をなく
した人に力を与えるような気がする。
そうだ、きっとそうだ。でもなぜ
あのような力強い波のひびきが出る
のだろうかと思ふに思ふ。海は生
きているのだ。何處までも昔から活
動しつづけている歴史の海だ。夏休
みにはこの海で体や心をきたえよう。
海は子供の戯れの遊び場である。

Kredas. Kela maro estas la plej bona
ludejo por mi geknaboj.

R.O.による北海道エス界 (IV)

坂下 清一

Leontodo がHELの機関誌になつたN-ro 11にR.O.のVol. 1 即ち、
大正9年(1920年)からしばらくの期古い北海道のエス界を展望しようと思
つて喜びはじめてから、1年半以上たちました。

N-ro 11 - 1920, 1921, 1922, 1923.

N-ro 12 - 1923

N-ro 15 ~ 16 - 1927, 1928

私が学会に入会したのは、1928(昭和3年)で、1934年からのR.O.は全期
揃つておりますが、入会前はS-ro Takase 寄贈のHEL 叢書によりまし
た。残念なことに1925~6年2冊だけが引ついておりません。誰かお借り
して入は郵返却下さい。郵候しましたが、1924年からつゞけます。

1924(大正13年)

majo 109 内地消息 Hakodate - Ĉirkaŭante S-ron Takakuŭa,
Kiu estas la plej agema esperantisto en la urbo, mi 14
samideanoj, unuanime kunligis kaj maskis,, Hakodate
E-ista Societo. en lasta jarmaro de S-ro Takakuŭa.
Ĉiun merkredon vespere mi kunvenas kaj aŭ lernas
aŭ diskutas inter mi la lingvon, ĉefe pri la "Esperanta
legolibro kaj krestmatio" de S-ro Ĉif. mia Societo ja
estas tre malgranda, sed mi ĉiuj kredas obstime, ke
la jami ekgerminanta esperanta, arbeto, kvankam ankoraŭ
aŭ tre malgranda, post favoraj printempoj, povos ja
kreski en grandan arbon, povos ja flori kun granda
beleco kaj timos memian minimumon de megego, ventego
au tertremego. "mi semlas kaj semos, kaj memiam
laciĝas." Invitanta profesorojn, gazetistojn kaj aliajn
ĉefulojn en la urbo, mi festis la morto tagon de D-ro
Zamenhof kun ĉiuj de "La Espero" paroladoj pri la

vivo kaj afero de mia majstro ktp. Tiam miere mi
 ĉiam ne forgesas propagandi la lingvon en ĉiu okazo
 de festoj. Vi, Karaj samideanoj ni petas vian hel-
 pon. (Raporto de S-ro Uatari)

junio 131 内地消息 Hakodate - Mal longan kurson oni mal-
 fermis la 1a ~ 6a Apr. po 3 horoj de 14h. Lernantoj
 konsistis el studentoj, bankistoj, komercistoj kaj kur-
 aŭstoj, entute 25p. kun kontentiga sukceso finiĝi-
 is. En la lasta tago okazis reparteo. La 1aan de spr.
 por la memorigo de D^{ro} Zamenhof, Hakodate Esp.
 Societo aranĝis publikan paroladon, laŭ jena pro-
 gramo:

Mal ferma saluto. S-ro M. Kobajasi;
 Festena prego. S-ro O. Uatari (Okulisto)
 pri Esperanto. S-ro I. Uatari (bankisto)
 Esp. en Hakodate. S-ro H. Okaba (firmisto)
 pri Esp-ismo. S-ro S. Hirobe (Oficisto)
 Anekdoto. S-ro I. Kimosita (licenciato)
 Karaktero de Gentoj S-ro S. Josida (bankisto)
 Lasta Tago de D-ro Zam. S-ro S. Takakuŭa
 Floro de Himno Espero. Ĉeestantoj.
 Fesma Saluto S-ro T. Nisida (instruisto)
 Komunca vespermanĝo.

nov. 236 写真 仙台に於ける日本大会記念写真に函館の高桑正吾、
 吉田栄の2氏が見える。

nov. 238 内地消息 Hakodate - Nove elektigis S-ro O. Tora-
 ŭatari, kiel prezidanto anistataŭ S-ro Takakuŭa.
 La XIV an Japanan Esperantan Kongreson en 1926
 oni votas in oiti al Hakodate.

dec 267 内地消息 Hakodate - De la 2a de okt.
 koonencigis la dekdua kurso de Esp. En la urbo por
 2000 matoj, sub la gvido de S-ro S. Takakuŭa (gra-
 matika) kaj de S-ro S. Asada (legajoj), en la oficejo de
 l' Societo, kun 141. (Raporto de S-ro S. Takakuŭa)

HEL蔵書目録 (IV)

Esperanto - Lermanto	500P	1933
"	500'	1934
La fera kalkanumo	359'	1930
Ĉirkaŭ la mondore hom la verda stero	272'	1933
ハイネ詩集	74'	冊3
AELITA	199'	1928
La vojo retuime	369'	1931
童話集本	44'	1935
世界語の歴史	464'	冊9
模範エスペラント会話	124'	冊5
El slava litera turo	73'	冊9
(エスペラント模範練習読本、白米集 イソツア物語、 文法、エスペラント助詞詳解、前置詞、全副詞	合本	1920
La Teksto Unua de Prolata Esp. Kluso	40P	1931
Zmamemka	15'	1931
Marjo	31'	1929
La milito en malproksima oriento	32'	1933
Cours methodique d'Esperanto	133'	1909
Verda Pavmaso	126'	冊7
Fabeloj de Ezopo	69'	1932
Karcero	163'	1937
Ora Libro de la Esperanto-Movado	221'	1937
Venda Matemato	36'	冊3
Bela Joe	310'	1929
エスペラントの想い出	156'	冊5
praktika Korespondo en Esperanto	306'	冊7
Jarlibro unua parto	261'	1952
北政篇	84'	冊11
Unua legolibro	101'	1932
Legu Kaj parolu!	208'	1925
Vortoj de Macue Sasaki	123'	冊9

La Submarinistoj	116 ^p	1932
イスベラント新彙詞略解	419	昭18
Petro	55	
Ivan la misaĝulo	61	昭9
La Dek bildoj de Boupaŝtado		1930
VerdKato Testamento	121	1936
Vivo de Zamenhof	109	1923
La Sauranta - Mukka-parivarto	34	1933
イスベラント講習用書 (小坂)		1933
Georgo Dandan	51	1930
Rabemo de Baĥaraĥ	67	1924
Revizoro	99	1928
hevidoj	71	1912
Lingvaj Respondoj	94	1927
La interrompita kanto	79	1928
Kondukanto	183	1906
Fundamenta kvestomatio	460	1931
Hamleto	176	1921
Plena Vortaro de Esp.	517	1930
Art historio	100	1934
Fabeloj de Andersen	39	1923
Rusaj Rakontoj	47	1924
Inferno	282	1933
Kompleta Grammatike	187	
La Komunista Manifesto	48	1948
Johano la brava	62	
Interpopola konduto	154	1935
La Revuo Orienta	348~360	1933~6
Verda karto	183	昭6
Malsato en Rica rikolto.	46	1949
Gracia	22	昭5
Aŭskultu La Voĉon de Oceano	53	1951
La patro verenas	30	昭1
Ano de Tooŝuro	88	1934

Italaj Rakontoj	75 ^P	1922
La vortoj de Konfucio	87	1923
Moto libro de praktika Esperantismo	125	1934
Eterna Bukedo	350	1931
Mi legu!	110	
千布 エスペラント読本及文鏡	253	1922
作詩法講義 (小坂)	16	1924
Rigardn la teron	449	1936
Zamenhof-Radikaro	84	1927
Originala Vekaro	604	1929
La kado de Kronprinco Sootoku	24	1932
外国語辞典	52	1940
Japanaj Fabeloj	38	1933
国際通信の常識	126	1934
La laborista Esperantismo	37	1928
Rakontoj de Valkinta Folio	40	1953
エスペラント 日常会話用句 オノ衆、オノ衆、		

HEL 誌書として、4回に分けて発表しましたが、S^{ro} 相沢から数回に渡つて本前に選び込まれ、途中で北大の展示会に出したりしたので、雄然とした目録になりました。Zamenhof の著書 *Georgo Dandan*, *Hamleto* その他 *Plena Vortaro* 或は二葉亭の *世界語 半黄童の書簡* も少なくありません。戦時中、散逸を防いで防空壕へ真先に保管して下さった S^{ro} 相沢に感謝すると共に、殆んど大半寄贈して下さった福田仁一氏、高瀬栄一氏、その他の諸氏に改めてお礼を申し上げます。尚、書名、著者、発行所、サイズを日本版、外国版、装巻名、科字、文芸、地理、丁史等に分類して一覧表を作成する予定です。

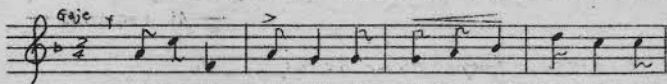
(坂 下)

(P. 21 より)

大会にて、筒林のお耳を汚しましたが、発表させていただきます。4部合唱に編曲したのもありますが、まだ実験したことなく(機会なくして)自信ないため、Xロディーのみ発表させていただきます。

星 田

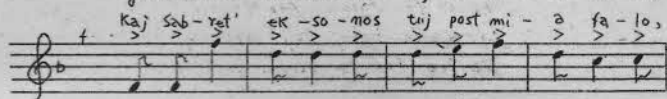
Akra la sabreto (Sablentka brúšená)



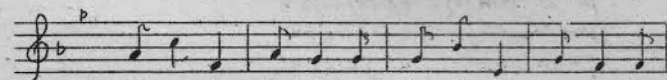
1. Akra la Sabret-o estas edz-in-e-to.



gi-mim de-fend-sa-vos tuj al mi-a pe-to,



hu-ja-ja, hu-ja-ja, hu-ja-ja, hu-ja-ja,

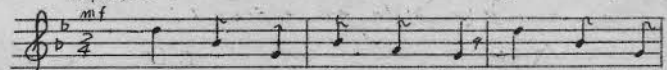


gi mim de-fend-sa-vos tuj al mi-a pe-to

kaj Sab-ret' ek-so-mos tuj post mi-a fa-lo

Sopireme

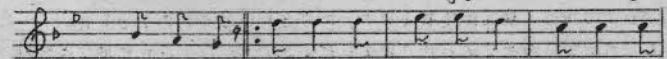
Kial ne venis vi (Proč jsi k nám nepřišel?)



1. Ki-al ne ven-is vi? Vin ja a-

2. premi-is min la so-pir', ven-is la

3. Ah, fin-e mi kuni goj' vid-as je



tend-is mi, hej-mie mi ja sid-is, fe-mestren

sun-sub-ir', a-per-is jam la lum' vid-is vin

re-a foj' vin ki-el al mi jam flustre-tas



mir vid-is, kar-ul-o mi-a.

eĉ ne nun, a-ma-tin' vi-a.

en la am': A-ma-tin' mi-a!

Infankanto "Flugu miaj semoj"

— Al Leontodo —

Flugu, flugu miaj semoj
tra l'aero en la Suni,
trans herbejon, vivereton,
trans monteton flugu nun!

Flugu, flugu miaj semoj,
trans la valon per flugil'
trans la baroj kaj arbaroj
Vastan tra la Suma bril'!

Alten flugu miaj semoj,
pli ol montoj, nuboj, jen,
vastan flugu ĉiun vojon,
al la kampoj, al ĝarden!

Ĝermu, kresku miaj semoj,
ĉie verde sur la ter';
jam ekfloru pacaj floro
vive brile en esperi!

1/X/36

I. U.

K-do I. U. (伊東三郎氏) の poemeto "Al Verda Kampe" を.
LEONTODO 誌上に転載させていただきたいとの私の post karto に
対し、彼からこの詩が送られて来ました。Sojara jubileo を迎える今日、
この大先輩から北海道の我々に寄せられたものとして受けたいと思います。

Ni semas kaj semas, memiam lacigas
pri l'tempoj estontaj pemsante

— L. L. Zamenhof. —

この La Vojo の一節が思い出されます。

Flugu miaj semoj, の semoj も勿論この意味だと思います。

(眞 田)

会 員 名 簿

吉 田 栄	函館市船見町 43
仁 原 武 頼	・ 宮村町 19 佃田方
渡 辺 由 美	・ 〃 24 西別産出張所内
小田島 栄	・ 外上成町久振別 7
藤 原 徳 吉	・ 港町鉄道公社 85 の 2
✓カ 毛 セツコ	室蘭市知利別町 3-103
元 谷 清	・ 高砂町 46 高砂カ一繁
鈴 木 政 治	・ 幸町 34
✓丸 子 久 子	・
星 田 淳	支笏湖島区内千才カ一電電可
↓山 坂 勇	小樽市花園町東 3-11
✓喬 福 達 治	・ 桜町 309
江 口 音 吉	・ 奥沢町 4-22
早 川 昇	・ 緑町 2-2
前 田 幸 一	・ 花園町街 2-17
繁 田 ミ 子	・ 飯盛町 171 村田方
↓土 田 虎 幸	・ 清水町 34
横 山 良 勝	・ 燕ヶ枝町 44
✓山 本 昭 二 節	・ 清水町 34
中 沢 天 子 眞	・ 花園町東 4-22
上 郷 登 茂	・ 緑町 1-1
・ 井 上 幸 枝	・ 若竹町 142
✓坂 下 清 一	札幌市北 / 東 9
✓ア リ マ 三 ハ ル	・ 北 24 面 9
✓相 沢 治 雄	・ 菊水東町 7
高 橋 要 一	・ 大通 東 8
✓西 里 謙 彦	・ 南 16 面 5

✓ 木 林 春代 治
 嶺 近 庄次郎
 新 内 和 男
 面 定 雄
 ナガタ アキコ
 洞 庄 有 保
 塚 隆
 ✓ 河 野 広 道
 高 木 貞 夫
 山 路 彰 峰
 柳 沼 悦 子
 貝 崎 健 夫
 後 藤 義 治
 芳 西 藤 三郎
 浪 越 香 夫
 久 保 啓 久 治
 小 川 信 田

札幌市南16 西17
 。 北16 東1の9
 。 北13 西3
 。 北12 西2
 。 北2 西17 道庁公宅 56号
 。 北12 西14
 東京都千代田区紀尾井町参議院宿舍
 札幌市北18 西6
 。 南13 西13 吉村方
 。 北14 東7
 。 夢似町官1森 439
 。 北10 西3
 。 南2 西8 若山方
 。 伏見町1512
 。 南5 西3
 。 南15 西6 千葉直一方
 。 北10 西3 副江幸方

坂 本 厚 三
 越 尾 文 夫
 ✓ 新 田 逸 男
 東 谷 昭 興
 外 山 雅 子
 岡 本 毅 雄
 武 田 田
 田 辺 至

千代郡尾庭町役場前
 江別市鏡町東4 江別製糖KK内
 夕張郡由仁町字三川
 。 川端
 。 西通147
 空知郡三笠町美香別東区相丘
 赤平市平岸東町7
 南竜郡深川町 深川東高枝寮内

→大坂

崎 濱 正 栄
 丸 前 与三吉
 山 崎 久 誠
 竹 吉 正 広
 木 津 鏡 雄
 ✓ 新 井 柳太郎

旭川市春光台5区 (222)
 。 5条通 23丁目 22
 。 北門町9 学大分校
 。 9条9丁目右1
 。 1条7丁目左4
 旭川市の基準監督署内

奇 藤 圭 司 厚田島厚田村大字別荘村 8
 高 橋 正 与 市 茨 市 西 之 东 11 丁 目 舞 殿 方
 ✓ 菅 原 鉄 雄 秀 松 郡 厚 賀 村 字 土 厚 賀 土 畑 文
 三 田 智 大 天 堀 国 土 别 局 区 内 別 市 豊 岡 通 り
 イ ト - セ イ 子 北 見 市 寺 町 24

客 員

大 木 克 己 京 京 船 目 黒 区 中 根 町 79
 ✓ 工 藤 尚 北 多 摩 郡 国 立 町 東 区 95
 尾 王 広 夫 日 原 区 柿 1 木 町 322 道 彦 公 宅
 本 藤 緑 坂 橋 区 坂 橋 町 6 の 3442 遊 樂 照 澤 方
 田 中 貞 美 山 口 市 後 河 原 字 吉 田 49-3

H E L 収 支 報 告

収 入 之 部		支 出 之 部	
30年度会費	200 ^円 × 2 = 400	※4 報告不足分	1,697
31年度	200 ^円 × 41 = 8,200	※5~16 印刷代	4,200
	100 ^円 × 1 = 100	送料及通信費	890
	50 × 1 = 50	振 替 料	30
旧号販売	600		
孤善贈金利子30年度分	93		
寄附金	2,580		
大会ヨリ報告書印刷代	1,500		
計	13,523		6,817
	差 引 残 高	6,706	

寄附金内訳	坂下清一 札暖	300	池島与三吉 旭川	200
	山賀 勇 小辨	1000	野田順三郎 札暖	200
	小田島栄 函館	80	計	2,580
	吉田 栄	200		
	木津義雄 旭川	400		
	田本誠雄 樂器別	200		

註. 吉田氏他5名の方は31年度会費として4月と9月重複して送金になりましたので32年度分とせず寄附金として扱いました。御諒承下さい。

上記の様に残高 6,706円から※7号の印刷代 4200~4300^円を差引くと2500^円程しか残りませんが31年度会費は現在45名より頂いておりませんので今後15名は確実に入金の手定ですから少くとも31年度版の※8号は出せます。同卒までに会費をお込みなご方は至急御納入下さる様お願い申し上げます。

第20回北海道エスペラント大会報告書

日 時 1956年9月23日(日) 10時 ~ 16時
 会 場 札幌市 北海道町村会館大講堂
 主 権 北海道エスペラント連盟

準 備 委 員 会

委 員 長 アリマ ヨシハル
 委 員 高 橋 要 一
 相 沢 治 雄
 坂 下 清 一
 面 里 勝 彦

大 会 役 員

大 会 会 長 坂 下 清 一
 司 会 者 高 橋 要 一
 要 村 員 アリマ ヨシハル 面 里 勝 彦
 記 録 係 面 里 勝 彦

プ ロ グ ラ ム

9.30 ~ 10.00 夏 村
 10.00 ~ 12.00 大 会 (その一)
 12.00 ~ 13.00 記念撮影・昼食
 13.00 ~ 14.00 大 会 (その二)
 14.00 ~ 16.00 こ ん し ん 会

第20回大会は、サツポロの同志により準備委員を結成し、別項の準備委員が数回の会合をおこなって、開催期日を9月23日に定め、サツポロ市の北海道紅生会館で開くことに決定し、全道の同志155名に於て、招待状を発送、大会の準備をすゝめた。なお参加者が増加する見込みが強くなったため、会場を北海道町村会館の2階大講堂に変更した。

1956年9月23日は秋分の日にあたり、秋空はからりと晴れ第20回エス

ベラント大会にはふさわしい日であった。開催時間が迫るにつれて、オタル、ユニ方面からの同志も続々とつめかけ、今年は無ロランから f-inoj が3名も参加し、それにサツポロ在任の f-inoj 4名が加わり、20たび回を重ねて来た大会中もつともぬごやかな atmosfero のみなぎつた会合になることを楽しみに受付もいとがしい。そのうちに開会の時間がせまり、一同着席し、開会のあいさつ区待った。

1. 開会のユトバ

10時少し過ぎで、司会者 S-ro 高橋 豊一の到着きある Malferma Saluto によつて大会が開かれた。

Karaj gesamideanoj! Ĝani estas la tempo malfermi la kunvenon de la 20a Kongreso de Hokkajdo-esperantista.

Hodiaŭ ni kunvenis el diversaj lokoj en tuta-Hokkajdo por paroladi, diskuti aŭ interkomunikiĝi unu la alian.

Bonvolu farigi signifo-plena la kunvenon per nia sanketa movado.

2. LA ESPERO 斉唱

参加者 33名の Gesamideanoj) によつて力強く、そしてエスペランチストでなくては味合えない感銘をもつて、声高らかに Espero が斉唱された。

3. 準備委員長のあいさつと大会々長選出

S-ro アリマヨシハルから大会準備についての報告があり、招待状往復バキで155通出して1通戻り、約半数の万通の返事があつたことなどの報告あり、終つて司会者から大会々長の選出方法が大会にはかられ、HEL委員長サツポロの S-ro 坂下 清一をすいせんする声あり、万場一致拍手をわけて同氏選出に決定。

4. 大会々長のあいさつ

S-ro 坂下 清一から次のとおりエス語によるあいさつがあつた。

*Estimataj Fratinoj kaj Sinjoraj Ĉe estantaj,
Sub la verda standardo, mi havas honoron saluti Vi
en la nomo de Ĉef Komitato de Hokkajdo Esperanto
Ligo. Estas tre granda ĝojo. Ke tiu ĉi Kongreso farigas
la jubilea de Esperanto movado en Japanujo, Ĉar*

ni havas la 50 jaran^o datorevenon post la enkonduk-
igo de Esperanto en nian landon, kaj plie hodiaŭ ni
havas 20an kongreson en Hokkaido. Estas do displi
granda ĝojo por ni, ke tiu ĉi kongreso estas memori-
nda festo de l' 50 jara jubilea, kin havas grandan
signifon en la historio de la Esperanto movado.

Kiel ĉef komitatano de Hokkaido Esperanto Ligo,
mi esprimas al vi mian sinceran bonvenon!

Felice hodiaŭ oni vidas sufiĉe multan nombron da
partaprenantoj el ĉiu loko de Hokkaido.

Mi tre ĝojas kaj esperas, ke ĉiuj samideanoj havu
bonan tempon dum la kongreso.

Samideanoj, ni ĝoju, ni kune ĝoju hodiaŭan feston.
ni manpremu reciproke, instigu denove la amon kaj
idealon, kiuj estas egale sentataj en nia koro, kaj ni
kunvenu seroge kaj bonkorde. Nia jubileo do for-
igos tiamasiale grava memoraĵo en la historio de
Esperanto movado en Hokkaido.

5. 自己紹介と短いあいさつ

ユニの S-YO 新田英男が勇氣のため出席出来なくなつたと報告され、上
厚員の S-YO 菅原から「ヤマニテユケヌ コセイカイライノル スカワ
ラ」との祝電と幾春別の岡本義雄からの祝辞の複製があつて、33名全員に
よる自己紹介と短いあいさつが、或は Esperanto で、或はニッポン語で
、旧同志は昔をしのびつゝ、新しい同志は希望をこめて発表された。

6. 地方会活動の報告

各地方会の活動報告が各代表によつて次のようになされた。

a) 札幌から、S-YO アリマヨシハルによつて、日本エスペラント運動 50 周
年記念行事にならつて 4 月 14 日、新旧同志の会合、S-YO 相沢による北海
道新聞への「エスペラントの実用性」という記事連載、6 月 12 日、北大
の真崎健天博士、菅原幸平博士、西忠雄教授等を交へて、古い同志を囲
んでのエスペラント座談会、7 月 15 日 Gesamideanoj による pikni-
ko の実施と、北大エスペラント研究会主催の 8 月のエスペラント講習会、9 月の北大
創基 30 年記念学校祭記念エスペラント会への援助等について報告があつた。

b) 小樽から、S-YO 高橋康治によつて、イギリスのウースター夫人を迎へ

たときの話、S-yo早川昇によって、小樽仏教エスペラント研究会の運動
についての話があった。

- c) 由仁から、S-yo東谷昭典によつて、S-yo新田進男入院のためやむなく
活動は中止されていると報告された。
- o) 室蘭から、F-inioカモセツコによつて、室蘭にはまだエス会と名のつ
くものがないが、初回金曜日に図書館でS-yo平田岩雄を中心にして研究会
を開いており、いずれはエス会を組織して運動を活躍におこなう予定な
ので、ご協力をせうとの報告があった。
- d) 北大エス研究会の、S-yo近里静彦によつて、1955年未北大生のための
初等講習会をきつかけに北大内にエスペラント研究会を作り、5月に
再び北大生への講習会を開いて研究会の内容を充実させ、8月中延べ2
回向一般人を相手の初等講習会を開き、エスペラントの宣伝につとめ、
9月16日には北大南基80周年記念エスペラント展示会を開き大成功を納め
たこと等について報告された。
- e) 藤女子短大エス会のF-inio永田明子によつて、9月29日、30日に学校祭
に開くエスペラント展示会等により学外先生方に理解を深めてもらつて
エスペラントの研究を校内にもひろめて行く予定と報告された。

7. 北海道エスペラント連盟報告

坂下委員長よりHEJLのノケ等の動きを報告し、特に横岡純「レオン
ト」に対する投稿協力方歓迎があった。

8. 記念撮影と昼食

会場町村会館の正面玄関前に全員が並び、札幌、小樽の会派 Verda j st-
andardo) と室蘭の F-inioカモが持参した Verda stelo のノレンの前に持
つて記念撮影をおこなつた。ひざつぎ昼食にうつり、13時から午後の前
にはいることになつた。

9. 議題の説明と審議

坂下議長より、大会案内状の回答欄に申出た議題に就いて説明あり、審
議に入る。

- S-yo 早川 (1) 文選希望額を“Leontodo”に設けられたい〔賛成可決〕
(2) 北海道風物生話誌をまとめたたい〔Leontodo に逐次掲載
してまとめることにしたい〕

S-yo 高瀬 初等講習会をひんぱんに開いてほしい。

S-yo 植江 小中学生むぎの講習会を学術的に開催する工夫はないか、
会場及講師などの諸問題、予算等を検討して実現に至るよ

う努力したい。それについての名案があつたら Leontodo に発表して貰きたい]

S-ro 新田 9月23日の祭日は当地の祭日で毎年大会と重なり困る。変更出来ないものか(御希望にぞいたい)

S-ro 田辺 大会後どこか見学するよう機会を作つて欲しい。
[今年は祭日で新聞社、ビール会社、古谷製菓、曹印乳業などもだめでした。祭日でない日を選んで御希望に沿いたいと思ひます。どんなところを御希望になりますか御希望おもしろ下さい]

S-ro 松尾 活版屋 Ekspojicio について
Fino カモ 祭場所内で展示会、講習会を行つてはどうか。N HK でラジオ放送をして欲しいと署名運動をしている。

S-ro 木村 現在ではラジオ放送を行うまでにいつていない。
[各自が一往氣命にやつて欲しい。展示会のためにHELの趣旨の持っている資料目録を Leontodo に発表し便宜を計らひましょう]

S-ro 西里 分科会を持つて欲しい(現在の状態では不可能だがそのような方向に持つて行きたい)

S-ro 平川 世界連刊運動とエスペラント運動を結びつけては如何か
Fimo 永田 替成論と世界連刊について語る。

Dro 河野、S-ro 西里 S-ro 星田 S-ro 相沢

現在の状態ではまずい。各自の自由意志にまかせるべきだ。

S-ro 高橋(要) あくまでもエスペラントを中立的なものとして行きたい、(HELの議決とせず、替成者が集つて分科会の様な形でもつてゆくこと)

S-ro 西里 S-ro 木村 世界連刊運動の性格をよく知つてからの向題である(御意見を Leontodo に発表して欲しい)

10. 北海道エスペラント連盟規約一部改正

別項のHEL規約参照

11. HEL役員改選

別項の役員名簿参照

12. 第2回大会開催地の決定

期日としては用写の9月23日除いた日に、室蘭または小樽で開催することに決定。

こんしん会

4時半からこんしん会にうつり、まずS-ro相沢から、アルゼンチンの Gedoktoroj Scolnik (姉弟) が9月5日札幌に来られたこと、しかし東京、仙台からの連絡がうまくゆかず在道の Gesamilda noj に連絡がとれず、たゞS-roj アリマと沢下の2人だけしか面会出来なかつたことの話があり、ついでS-roアリマから Ged-roj Scolnik が同氏宅に訪ねて来られたときの話、S-ro沢下から Ged-roj をその宿泊所の都旅館に訪ねたときの話があつた。

小樽のS-ro早川から Esperantistoj の世界連邦への加入について意見が出され、それに対して賛否論がにぎやかに交わされたりして、今年の大会は生気にあふれた集会であり、それに、多数の F-inoj の参加によつて印象深いものとなつた。また、S-ro 鹿里の独奏によるギターの調べ「ラリアーネ祭り」「愛のロマンス」(兼じられた藍ひ)、「雨だれ」、S-roj 澤田、早川、琴田の Esperanto の Kantoj も忘れられないものとなつた。

LA TAGIĜO の香煙

行事も終りに近づき、地方へ戻る同志の時間のことを考え、おしくも聖歌 Tagiĝo、香煙の時となり、全員起立して声高らかに香煙した。

閉会のゴトバ

16時過ぎS-ro高橋第一の閉会のゴトバを最後に全行事を終えた。来年の再会を約して、小樽へ、室蘭へ、支笏へ、由仁へそれぞれ別れて行った。

今年の見学先は、北海タイムス社の予定だったが、遅く新聞社の公休日で見学は取り止めることになった。

☆ Vortareto "Semo de Esperanto"

JELE (日本教育者エスペラント連盟) 発行の

小型 エス和、和エス辞典、文法付。

会話、文筆の手引もあり。

ポケット型 100頁 100円 安価実用的学習書

Bonvole multe disvendu, J. U.

北海道エスペラント連盟規約

1. この連盟は、北海道エスペラント連盟 (HOKKAIDO ESPERANTO LIGD) といい、事務局を札幌市におく。
2. この連盟は、北海道在住のエスペラント中の希望者または、地方会各団体で組織する。
3. この連盟は、北海道におけるエスペラントの宣伝と実用をはかり、民主的文化の向上に寄与し、世界的な交流をはかることを目的とする。
4. この連盟は、目的達成のため次の事業をおこなう。
 - a. 機関誌、印刷物の発行
 - b. 講習会、展覧会等の開催
 - c. 日本エスペラント学会、その他のエスペラント団体との協働
 - c. 内外諸文化団体との提携
 - d. その他
5. この連盟は、年1回、北海道エスペラント大会を開催する
6. この連盟に、次の役員をおく
委員長 1名 事務局長 1名 常任委員および委員 若干名
7. 委員長は、この連盟を代表する
8. 各委員の任期は、定期大会から次の定期大会までとする。
9. この連盟の会費は、1名につき年額 200円とする
10. この規約は、大会の決議がなければ変更することができない

1946年 9月 22日 決 定

1948年 11月 3日 オ1回改正

1954年 9月 23日 オ2回改正

1956年 9月 23日 オ3回改正

北海道工スペラント連盟の新役員一覧

(1954.9.23 改選決定)

委員長 事務局長 常務委員 委員	坂下清一 相沢治雄 アリマヨシハル 高橋栄一 近里寿彦 山賀 勇 高橋達治 ✓ 平田岩雄 新田義男 藤井沢司 竹吉正弘 菅原敏雄 吉田 栄	札幌市北ノ塚9 (北工電気株式会社社長) 札幌市菊水東町7丁目 (定山溪鉄道電車々庫 助役) 札幌市北24番9 (北海道南支庁管轄部計画課 長補佐) 札幌市大通東3 (北海道ヒラノ荷札K.K勤務) 札幌市南16番5 (北大学生) 小樽市花園町東3-11 (山賀眼科医院社長) 小樽市桜町307 (小樽海員学校教習) 室蘭市東町日鋼社宅東隣298 (日鋼社員) 夕張郡由仁町宇三川 (由仁町収入役) 岩見沢市4条西15丁目 (岩見沢保健所職員) 旭川市9条9丁目右ノ号 (旭川郵便局) 勇弘郡厚真村上厚真 (中学教職員) 函館市船尾町43 (銀行員)
---------------------------	---	--

大会々計報告

収 入 の 部	支 出 の 部
大会々費 出席参加費 150×35=5,250	会場費 (町村会館大講堂) 1,500
欠席参加費 *100×18=1,800	こじん会費 (茶菓 35人分) 1,050
新 財 金 (内訳下記) 700	写真代 (58枚 JEIへの分金) 1,740
繰 越 金 (1953年小樽連盟) 514	報告書代 1,500
	通稱費 (写真、報告書送料その他) 1,000
	租費 (往復ハガキ155枚フィルム) 2,327
	安全ピン用紙インクその他
計 9,264 ^円	計 9,117 ^円
残 高 (来年度へ繰越す分) 147 ^円	

☆ 欠席参加申込者で、会費未納者4名分400円は受入次才繰越金に
加算します。

村木吉高坂	金津田橋下	内美登清	誤屋栄一氏	氏	200 ^円	アリマヨシハル氏	50 ^円
			氏	氏	200 ^円	田里静彦氏	50 ^円
			氏	氏	50 ^円	山崎久茂氏	50 ^円
			氏	氏	50 ^円	相沢久雄氏	50 ^円
計					700 ^円		

●印は欠席参加者

1.	札	櫻	高	橋	要	一	30	小	群	横	山	良	勝
2	札	幌	坂	下	清	一	31	小	群	畑	山		紀
3	●	旭	池	島	与	三	32	文	勿	屋	田		淳
4	小	川	江	口	音	吉	33	小	群	富	橋	連	治
5	江	別	松	尾	文	夫	34	小	群	土	田	虎	幸
6	札	櫻	高	木	貞	夫	35	●	西	大	辺	山	美
7	小	櫻	早	川	貞	早	36	●	東	田	木	克	己
8	●	小	山	須		男	37	●	原	川	辺		至
9	札	櫻	ア	リ	ヨ	シ	38	●	函	館	田		栄
10	●	北	イト	一	セ	イ	39	●	由	仁	山	推	子
11	札	櫻	山	路	杉	峰	40	●	希	云	橋	正	興
12	札	櫻	山	里	静	彦	41	小	群	前	田	幸	一
13	小	群	山	本	昭	二	42	札	櫻	前	村	和	子
14	札	櫻	山	生	育	保	43	●	旭	川	吉	正	瓜
15	札	櫻	ナ	タ	了	キ	44	●	札	櫻	内	和	男
16	空	庭	力	毛	セ	ソ	45	●	函	館	岳	和	平
17	空	庭	佐	藤	東	子	46	●	旭	川	崎	久	郎
18	●	小	佐	田	三	義	47	●	札	櫻	原	年	隆
19	●	旭	木	洋	正	義	48	●	札	櫻	道	治	道
20	●	旭	武	田	正	義	49	●	札	櫻	道	昭	道
21	●	旭	高	新	義	政	50	●	札	櫻	道	昭	道
22	●	旭	新	後	義	政	51	●	札	櫻	道	昭	道
23	●	旭	後	鈴	義	政	52	●	札	櫻	道	昭	道
24	●	旭	鈴	木	義	政	53	●	札	櫻	道	昭	道
25	●	旭	木	西	義	政	54	●	札	櫻	道	昭	道
26	●	旭	西	岡	義	政	55	●	札	櫻	道	昭	道
27	●	旭	岡	沢	義	政	56	●	札	櫻	道	昭	道
28	●	旭	沢		義	政	57	●	札	櫻	道	昭	道
29	●	旭			義	政							
計							57名						

あ と が き

日本エスペラント運動50周年記念大会が開催せられる竟ある本日、北海道エスペラント連盟の機関誌「レオントード」N°17号を発行出さしまして、一寸重荷をおろした感じですが、第20回北海道大会でもお願いしたように、皆様の機関誌にどしどし御意見なり作品の発表を賜りますようお願いいたします。大会に参加の皆様にプロトコロや写真のおぞくなつたことをお詫び致します。

11月4日に東北エスペラント連盟の結成大会が仙台市で挙行されました。HELから御祝辞を送りました。11月10日の記念大会にはHELからメッセーヂと簡報書を送りました。どちらも盛大なKongresoであつたこと、思います。日本国中のエスペランティストと手をつないで、北海道でも強大な運動のためまごの歩みを進めたいと存じます。函館、旭川の皆様、名簿にあるように同志が健在なのですから昔のように活潑な会を結成されんことをお願いいたします。

(坂下記)

表紙についてのお願ひ

「Leontodo」が小樽エスペラント協会でも出されていた頃は、山本昭二閣君の献身的なServoで、特に表紙は数色刷の美麗なもので、lokaĵ gazetojのpremioを頂いた程です。HELの機関誌となつた今も色々お世帯になつていますが、表紙のことではいつも頭をなやましています。表紙をどうすればよいか皆様の御意見を賜りたいと存じます。今迄美しい表紙であつたLeontodoですからやめるのも残念ですし、毎度変えるのも夜跋画の選択で大変ですし、表紙の絵を皆さんから募集したらどうかとも考えました。今度は取敢えず坂下の案にしました。

何卒、表紙を如何にすべきか、御意見を御発表下さい。

LEONTODO

N°-17号

発行 1956. 11. 11
発行人 北海道エスペラント連盟
札幌市北ノ条東7丁目
坂下清一方
会費 年額 200円 (HEL会費)
(年4回発行配本)